

(資料4) 平成21年度地方環境研究所等との共同研究実施課題一覧

内訳：50機関60課題（B、C型共同研究を含む。C型は代表研究所を掲載）

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		研究期間 (年)
				A・B・C	α・β	
北海道環境科学 研究センター	永洞真一郎（環 境保全部）	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニ タリングに関する基礎的研究	白石不二雄（リ スク）	B	α	19～21
	姉崎克典（環 境保全部）	ダイオキシン類及びPCBsの発生源解析に関する研究	橋本俊次（化 学）	B	β	19～21
	五十嵐聖貴（環 境科学部）	摩周湖の透明度変化に関する物理・化学・生物学的要因解析	田中 敦（化 学）	B	β	19～21
	三上英敏（環 境保全部水質環境科）	釧路湿原シラルトロ沼の環境劣化とその原因の究明	高村典子（リ スク）	B	β	20～22
岩手県環境保健 研究センター	高橋 悟（衛生 科学部）	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニ タリングに関する基礎的研究	白石不二雄（リ スク）	B	α	19～21
宮城県保健環境 センター	郷右近順子（水 環境部）	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニ タリングに関する基礎的研究	白石不二雄（リ スク）	B	α	19～21
	佐々木久雄（水 環境部）	地球温暖化がもたらす日本沿岸域の水質変化とその適応策に 関する研究（C型研究代表）〔21機関参加〕	牧 秀明（水土 壌）	C	β	20～22
	北村洋子（大気 環境部）	北部太平洋側における降水中の鉛安定同位体比測定によるア ジア大陸からの越境大気汚染の調査	向井人史（地球 C）	B	β	20～21
山形県環境科学 研究センター	大岩敏男（水環 境部）	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニ タリングに関する基礎的研究	白石不二雄（リ スク）	B	α	20～21
新潟県保健環境 科学研究所	武 直子（調査 研究室）	新潟県におけるオゾン高濃度現象の解明	大原利真（アジ ア）	B	β	19～21
群馬県衛生環境 研究所	田子 博（水資 源・環境グループ）	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニ タリングに関する基礎的研究	白石不二雄（リ スク）	B	α	19～21
	飯島明宏（研究 企画係）	アンチモンを指標とした沿道大気における自動車由来粒子状 汚染物質の評価	大原利真・長谷 川就一（アジ ア）	B	β	19～21
茨城県霞ヶ浦環 境科学センター	友部正志（大気 環境研究室）	関東地域における広域大気汚染のモデル研究	大原利真（アジ ア）	B	β	19～21
埼玉県環境科学 国際センター	米持真一（大気 環境）	関東地域における広域大気汚染のモデル研究	大原利真（アジ ア）	B	β	19～21
	倉田泰人・川崎幹 生（廃棄物管理）	廃棄物の安定化に着目した品質評価技術の開発	山田正人（循環 C）	B	β	19～21
	長森正尚・長谷隆 仁（廃棄物管理）	埋立地ガスならびに層内保有水を対象とした最終処分場安定 化モニタリング	山田正人・遠藤 和人（循環C）	B	β	19～21
	渡辺洋一・磯部友 護（廃棄物管理）	循環型社会物流システムに適合した最終処分手法の開発	山田正人（循環 C）	B	β	19～21
千葉県環境研究 センター	小林広茂（水質 地質部）	沿岸性植物プランクトンの自動画像解析システムの開発研究	河地正伸（生 物）	B	α	19～21
	岡崎 淳（企画 情報室）	植物のオゾン被害とストレス診断に関する研究（C型研究代 表）〔9機関参加〕	青野光子・久保 明弘（生物）	C	β	21～23
	半野勝正（廃棄 物・化学物質研 究室）	水生生物等を用いた最終処分場浸出水の簡易管理手法の開発	山田正人（循環 C）	B	α	20～22
東京都環境科学 研究所	石井康一郎（調 査研究科）	関東地域における広域大気汚染のモデル研究	大原利真（アジ ア）	B	β	19～21
	西野貴裕・佐々木 裕子（分析研究 科）	PFOS、PFOA及びその類縁の物質の環境実態把握及び汚染源の 推定	高澤嘉一・柴田 康行（化学）	B	β	20～22
	山本 央（分析 研究科）	PCBの迅速測定法に関する研究	橋本俊次（化 学）	B	β	21
神奈川県環境科 学センター	武田麻由子（環 境保全部）	ブナ林衰退地域における総合植生モニタリング手法の開発 （C型研究代表）〔14機関参加〕	清水英幸（アジ ア）	C	β	19～21
	福井 博・辻 祥 代（調査研究部）	最終処分場浸出水の水質変動特性の解明に関する研究	山田正人・成岡 朋弘（循環C）	B	β	21～23
横浜市環境科学 研究所	酒井 学	都市部と農村部における河川水のオオミジンコを用いた総合 毒性評価に関する研究	多田 満（生 物）	B	α	21～23
川崎市公害研究 所	早坂孝夫（都市 環境）	川崎市における都市環境観測と技術評価についての統合的な システム研究	藤田 壮（アジ ア）	B	β	21～23
長野県環境保全 研究所	中込和徳（環 境保全部）	鉛同位体比測定によるアジア大陸からの越境大気汚染の定量化	向井人史（地球 C）	B	β	19～21
	村上隆一（環 境保全部）	山岳地域における揮発性有機化合物の動態に関する研究	横内陽子（化 学）	B	β	19～21
	小澤秀明（環 境保全部）	環境中のダイオキシン類と関連物質のモニタリングおよび発 生源解析に関する研究	橋本俊次・伊藤 裕康（化学）	B	β	21～22
	小平由美子（環 境保全部）	湖沼における水草帯の保全と復元手法に関する研究	笠井文絵（生 物）	B	β	21～22
	浜田 崇（循環 型社会部）	都市の温熱環境マップ作成に関する研究	一ノ瀬俊明（社 会）	B	β	21～22

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		研究期間 (年)
				A・B・C	$\alpha$ ・ $\beta$	
長野県環境保全研究所	小口文子(循環型社会部)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄(リスク)	B	$\alpha$	19~21
静岡県環境衛生科学研究所	今津佳子(環境科学部)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄(リスク)	B	$\alpha$	19~21
	今津佳子(環境科学部)	静岡県内の河川の内分泌かく乱化学物質の調査	白石不二雄(リスク)	B	$\beta$	21
富山県環境科学センター	近藤隆之・溝口俊明(大気課)	富山県における降水水中の鉛同位体比に関する研究	向井人史(地球C)	B	$\beta$	19~21
	木戸瑞佳・近藤隆之(大気課)	山域地域における黄砂エアロゾルの動態に関する研究	西川雅高(基盤ラボ)	B	$\beta$	21~23
	木戸瑞佳・近藤隆之(大気課)・山崎敏久(生活環境課)	ライダーを用いた黄砂エアロゾル飛来状況に関する研究	杉本伸夫・松井一郎(大気)清水厚(737)	B	$\beta$	19~21
福井県衛生環境研究センター	田中宏和(環境部)	北陸地方における産業廃棄物最終処分場(管理型)の安定化に関する研究	山田正人・遠藤和人(循環C)	B	$\beta$	20~22
福井県自然保護センター	平山亜希子	生物の空間分布予測モデルにもとづいた自然再生適地の抽出と市民参加による検証	角谷拓(生物)	B	$\beta$	21~23
京都府保健環境研究所	日置正(大気課)	都市大気エアロゾルの発生源寄与と解明のためのレセプターモデルの高精度化	大原利真・長谷川就一(737)	B	$\beta$	19~21
	日置正・辻昭博(大気課)	エアロゾル中の微量金属元素濃度比及び鉛同位対比を用いた長距離輸送現象の解析	向井人史(地球C)	B	$\beta$	21~23
	宮尻久美(環境衛生課)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄(リスク)	B	$\alpha$	19~21
大阪府環境農林水産総合研究所	和田峻輔(環境情報部)	ライダー観測データを用いた近畿地方の対流圏大気環境の調査	杉本伸夫・松井一郎(大気)・清水厚(737)・西川雅高(基盤ラボ)	B	$\beta$	21
兵庫県環境研究センター	北本寛明(安全科学科)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄(リスク)	B	$\alpha$	20~21
	中野武(安全科学科)他28機関	有機フッ素化合物の環境汚染実態と排出源について(C型研究代表)【24機関参加】	柴田康行(化学)	C	$\beta$	21~22
	宮崎一(水質環境部)	浅海域における干潟・藻場の生態系機能に関する研究(C型研究代表)【11機関参加】	矢部徹(生物)	C	$\beta$	21~23
名古屋市環境科学研究所	山守英朋(水質部)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄(リスク)	B	$\alpha$	19~21
	大野隆史(大気騒音部)	光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究(C型研究代表)【36機関参加】	大原利真(737)	C	$\beta$	19~21
	朝日教智・神原靖(水質部)	土壌・地下水汚染物質の微生物分解に関する研究	岩崎一弘(水・土壌)	B	$\beta$	21~23
鳥取県生活環境部衛生環境研究所	島山恵介(食品衛生室)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄(リスク)	B	$\alpha$	19~21
	門木秀幸	ブラウン管ガラスからの鉛の分離除去と発泡ガラスへのリサイクル	小林潤(循環C)	B	$\beta$	21~23
福岡県保健環境研究所	田中義人(環境科学部)	微細藻類が生産する有毒物質の分析に関する研究	佐野友春(基盤ラボ)	B	$\alpha$	19~21
福岡市保健環境研究所	藤代敏行(環境科学課)	博多湾における円石藻の非円石細胞ステージのモニタリング	河地正伸(生物)	B	$\alpha$	21~23
北九州市環境科学研究所	岡山安幸(環境研究課)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄(リスク)	B	$\alpha$	19~21
長崎県環境保健研究センター	森淳子(企画情報課)	水稻葉枯症の発症原因の究明と対策	清水英幸(737)	B	$\beta$	21~22
鹿児島県環境保健センター	末吉恵子(環境保健部)	In vitro バイオアッセイを用いる河川及び大気の曝露モニタリングに関する基礎的研究	白石不二雄(リスク)	B	$\alpha$	19~21
沖縄県衛生環境研究所	仲宗根一哉(環境科学班)	サンゴ礁に対する地球規模及び地域規模ストレスの影響評価	山野博哉(地球C)	B	$\alpha$	20~22
	大城直雅(環境科学班)	微細藻類が生産する有毒物質の分析に関する研究	佐野友春(基盤ラボ)	B	$\alpha$	19~21
	城間博正(環境科学班)	亜熱帯域島嶼における最終処分場の安定化メカニズム解明に関する研究	山田正人(循環C)	B	$\beta$	20~22

\* 研究タイプA~C

A型共同研究：地環研等の研究者が自治体における国内留学制度を利用し、国環研において原則として1ヶ月以上にわたり共同で研究を実施するもの。

B型共同研究：地環研等と国環研の研究者の協議により、共同研究計画を定め、それによって各々の研究所において研究を実施するもの。

C型共同研究：全国環境研協議会からの提言を受けて、国環研と複数の地環研等の研究者が参加して共同研究を実施するもの。

\* 研究タイプ $\alpha$ 、 $\beta$

$\alpha$ ：国立環境研究所の研究者が申請する場合

$\beta$ ：地方環境研究所の研究者が申請する場合